

おかげさまで、コロナ社は2027年に創立100周年を迎えます



99th Corona Book Guide

2026年秋・冬 コロナ社専門書ガイド

こちらに掲載いたしました書籍は2025年5月から2026年12月下旬までの発行済・発行予定のおもなものです。研究用図書のご購入や図書館選書などの際にお役立てください。

書名、価格、発行予定日は変更になる場合がございます。

書籍によっては、弊社ホームページにてプログラムのサンプルコードや付録、関連資料などを公開している場合がございますので、詳しくは書影下のQRコードを読み取っていただくか、『書籍名 コロナ社』でご検索いただき、それぞれの書籍詳細ページにてご確認ください。

弊社ホームページは下記QRコードからアクセスできます。是非、ご利用ください。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブ様の登録商標です。

科学技術と共に歩む



株式会社 **コロナ社**

〒112-0011 東京都文京区千石4-46-10
TEL (03)3941-3131 (代), -3132, -3133 (営業部直通)
<https://www.coronasha.co.jp> FAX (03)3941-3137
E-mail eigyou@coronasha.co.jp



【電気・電子工学分野】

 	ロボコニストの「なぜ動かない！」に答えてみた ものづくりのための 回路と無線 Q&A 春日 貴志（長野高専教授）・桜庭 弘（ジー・オー・ピー（株））共著 ISBN 978-4-339-01506-5/A5 判/208 頁/定価 3,410 円/2026 年 10 月中旬刊行予定 長年高専ロボコンに携わる著者らが、実際の質問をもとにまとめた Q&A 集。電気回路や半導体、アクチュエータ、無線など幅広い知識を網羅し、ロボコニストの「なぜ動かない！」に正面から答えた。ものづくりの現場で活用したい一冊。	はじめての回路と通信／制御回路と駆動回路／無線通信／EMC とノイズに強い基板設計／回路・無線システムのトラブル事例集／確実に回路・無線を動作させるためのスケジューリング・マネージメント・マインドセット
 	フェーズドアレーアンテナの理論と実際 高橋 徹（三菱電機（株））著 ISBN 978-4-339-01507-2/A5 判/252 頁/定価 4,620 円/2026 年 10 月発行 フェーズドアレーアンテナの放射特性に関する理論を中心に、開口設計を行う上で知っておくべき事項や、アレーファクタによる理想的な議論だけでなく、素子間相互結合、励振誤差解析、キャリブレーション技術についても解説する。	フェーズドアレーアンテナとは？／アレーアンテナの基礎／平面アレーアンテナ／素子間相互結合／フェーズドアレーのハードウェア／フェーズドアレーの H/W 誤差要因とキャリブレーション技術
 	（シリーズ 基礎から学ぶスイッチング電源回路とその応用 6） インバータ回路とモータの制御 谷口 研二（阪大名誉教授）著 ISBN 978-4-339-01456-3/A5 判/286 頁/定価 5,280 円/2026 年 10 月発行 電気自動車や省エネ家電の普及とともにモータの高効率化と高精度な制御技術が求められる。本書は各種モータの動作原理からインバータを用いたモータ駆動技術、最新の制御理論に至るまでモータ駆動システムの全体像を体系的に解説。	インバータの基本構成／PWM 制御と空間ベクトル制御／多レベルインバータとその応用／インバータとモータの接続技術／モータ動作の基礎原理／永久磁石同期モータ／ブラシレス DC モータ／スイッチド・リラクタンسモータ／同期リラクタンスモータ（SynRM）／誘導モータ／ベクトル制御の共通基盤技術／永久磁石同期モータ（PMSM）のベクトル制御／誘導モータのベクトル制御／直接トルク制御／先端モータ制御技術
 	ワイヤレスネットワーク概論 平栗健史（日本工大教授）・今井哲朗（東京電機大教授）・丸田一輝（東京理科大教授）共著 ISBN 978-4-339-02961-1/A5 判/196 頁/定価 3,080 円/2026 年 10 月発行 無線通信およびネットワーク技術を初めて学ぶ人に、数式や理論だけでなく、なぜその技術が必要なのか、実際の通信システムでどのように利用されているのかを説明することで、無線通信システム全体を体系的に理解できる構成とした。	ワイヤレスネットワークの概要／アンテナと電波伝搬／通信システムと信号処理／アクセス制御方式とネットワークプロトコル／無線通信を用いた応用技術
 	MIMO アンテナ 本間尚樹（岩手大教授）・村田健太郎（岩手大助教）共著 ISBN 978-4-339-01504-1/A5 判/260 頁/定価 4,730 円/2026 年 10 月発行 現代の高速通信に不可欠な「MIMO」技術と、アンテナ技術とを結びつける一冊。MIMO の理論、アンテナ特性が MIMO に与える影響やその評価手法、各種測定手法や実際の MIMO アンテナ構成例を網羅的に学ぶことができる。	はじめに／MIMO 技術の概要／アンテナ特性と MIMO の関係／アンテナ特性を考慮した MIMO のシミュレーション／実アンテナを用いた MIMO の測定／MIMO システム実践例／特異な伝搬環境における MIMO 応用技術
 	（音響テクノロジーシリーズ 29） 音声器官のメカニズムとシミュレーション ー生体計測とモデル化ー 日本音響学会 編 吉永 司（阪大助教）編著 竹本浩典（千葉工大教授）・北村達也（甲南大教授）・桂田浩一（東京理科大教授）・徳田 功（立命館大教授）共著 ISBN 978-4-339-01168-5/A5 判/280 頁/定価 5,500 円/2026 年 9 月発行 「実験・観察」と、「理論による説明」に分け、調音と声帯振動による発声について最新の研究手法を解説。深層学習技術にもいくつか触れるが、中心となるのは物理的な計算に基づいたモデルであり、両者の融合についても紹介する。	音声器官の生理／調音運動の計測／声道のシミュレーション／喉頭・声帯の計測／声帯振動のシミュレーション

 	身近な音と音波 崔 博坤（明大名誉教授）著 ISBN 978-4-339-01505-8/A5 判/160 頁/定価 2,530 円/2026 年 7 月発行 耳で聞こえる音を一般的に「音」と呼び、「音波」と呼ぶ場合は、発生原因や波としての過程を考えている。音をさらに学びたいときに専門書は数式が難しく読み物は簡単すぎる。よって、高校数学で理解できる程度で音の本質を解説した。	音の簡単な歴史/波とは/音波とは/反射と定在波/屈折と透過/干渉と回折/ドップラ一効果/音の発生と検出/いろいろな身近な音/超音波/いろいろな波
 	コヒーレント宇宙光通信入門 一光でつなぐ次世代宇宙ネットワーク 高山佳久（東海大教授）編著 安藤俊行（三菱電機（株））・向井達也（宇宙航空研究開発機構）・原口英介（三菱電機（株））・竹中秀樹（東京都立大助教）・倉 伸宏（宇宙技術開発（株））共著 ISBN 978-4-339-01503-4/A5 判/216 頁/定価 3,960 円/2026 年 6 月発行 宇宙光通信の基礎からシステム構成、装置技術、大気影響、運用、標準化までを実例を交えて体系的に解説した。重要項目を丁寧に説明し、数式の導出過程も追跡できる構成としている。著者陣の実務経験に基づいた知見を反映した入門書。	宇宙光通信への期待/電磁波の伝搬と回折/宇宙光通信システム/宇宙光通信送受信器/アンテナ・捕捉追尾系/大気の影響/宇宙光通信の運用/宇宙光通信の技術標準化と研究開発動向
 	半導体デバイス基礎の基礎 廣芝伸哉（大阪工大准教授）著 ISBN 978-4-339-01502-7/A5 判/230 頁/定価 3,410 円/2026 年 4 月発行 半導体デバイス工学を学びたい学生や半導体デバイスに興味を持つ読者を対象に、電子の動きや基本的な構造など、現代社会を支える半導体デバイスの仕組みを解説。高度な数学は用いず、豊富な図解による本質的な理解を醸成する。	電気伝導から考える金属・絶縁体・半導体/半導体物理の基礎—量子力学と統計力学—/結晶構造と電子状態/キャリア密度と電気伝導/pn 接合/トランジスタの基礎—BJT と MOSFET、異種界面—/半導体集積回路の製造プロセス/半導体開発を支えるシミュレーション技術/先進半導体材料/薄膜成長技術の基礎/各種半導体デバイス・センサ
 	（音響テクノロジーシリーズ 28） 建築におけるスピーチプライバシー 日本音響学会 編 清水 寧（元ヤマハ（株））編著 佐藤逸人（神戸大准教授）・李 孝珍（Fire Insurers Laboratories of Korea）・羽入敏樹（日大教授）・山川高史（ヤマハ（株））・星 和磨（日大教授）・藤原 舞（ヤマハ（株））共著 ISBN 978-4-339-01167-8/A5 判/190 頁/定価 3,630 円/2025 年 11 月発行 会話音声における個人情報の漏洩や会話音声による作業の侵害に関する音響的な問題の総称「スピーチプライバシー」について、不明瞭性と物理評価指標、主観的印象、サウンドマスキング、建築音響設計について解説した。	スピーチプライバシーとは？/不明瞭性の評価/個人情報の保護感の評価/会話の侵入による執務の妨害感の評価/室内音響設計の基礎/室内音響設計の実例/マスキングシステム
 	電気回路素子を理解するための 電気磁気学 佐藤宣夫（千葉工大教授）著 ISBN 978-4-339-01501-0/B5 判/146 頁/定価 2,970 円/2025 年 11 月発行 電気回路と用いられる素子（キャパシタ、インダクタ、電気抵抗）への理解を深めることに重点を置き、時間の関数としての動作という利便性に着目した視点で記した。各章冒頭の学習目標、章末の演習問題により自学自習も可能。	電気磁気学で扱う物理単位/電気磁気学で扱うベクトル解析/電荷/電位/電界/電界中の物質/電流/磁界/磁界中の物質/電磁誘導/電磁波/電気回路素子とインピーダンス
 	高効率薄膜太陽電池の物理と化学 ーペロブスカイトと有機半導体ー 金光義彦（京大名誉教授）編著 ISBN 978-4-339-06675-3/A5 判/312 頁/定価 5,500 円/2025 年 10 月発行 塗布型・軽量・フレキシブルな次世代太陽電池として注目されるペロブスカイト太陽電池と有機薄膜太陽電池について、第一線で活躍の研究者が、基礎物理や材料化学から研究動向まで体系的に解説。分野横断的な理解を可能にした 1 冊。	デバイス物理—太陽電池の動作原理—/詳細平衡理論と応用—太陽電池への適用妥当性の検討—/材料化学—高性能化、実用化に向けた各層の材料—/結晶構造—単結晶 X 線構造解析のポイント—/結晶成長—各種プロセスにおける結晶成長のしくみ—/光物理—半導体としての基礎特性—/材料化学—構造制御による性能最適化—/界面設計—D/A 界面の構造と設計指針—/電子準位—測定・解析とエネルギーダイアグラム—/光物理—発電素過程の解析手法—

 	発変電工学 熊野照久（明大教授）著 ISBN 978-4-339-00997-2/A5 判/192 頁/定価 2,970 円/2025 年 8 月発行 大学学部での講義を想定した教科書。重要な概念と知識を深く理解させ、演習などを通してそれらを定着させることに主眼を置いた。各種機器のカラー画像や、問題の解説動画、用語の解説記事などを設けたサポートページが利用可能。	電力系統と発電・変電／水力発電／火力発電／原子力発電／発電機とその制御系／太陽光発電／風力発電／変電／電力貯蔵
 	（シリーズ 基礎から学ぶスイッチング電源回路とその応用 5） コンバータ回路の応用 -PFC, LLC, PSFB, OBC- 谷口研二（阪大名誉教授）著 ISBN 978-4-339-01455-6/A5 判/200 頁/定価 3,410 円/2025 年 6 月発行 エネルギー源である交流電源において、高効率な発電による高周波電流の抑制、電力損失の軽減、電力の再利用、膨大な数の低電圧動作 IC に大電流を供給する高速電源などカーボンニュートラル社会の実現に不可欠な技術を解説。	力率改善回路／共振ソフトスイッチ回路／LLC 回路／位相シフト・フルブリッジ回路／車載充電器（OBC）／高速電圧レギュレータ／高速ゲート駆動回路
 	電気法規と施設管理 天雨 徹（東京都市大教授）著 ISBN 978-4-339-00996-5/A5 判/214 頁/定価 3,080 円/2025 年 6 月発行 電気技術者の常識として必要な電気事業法と関連法規、電気事業の安全、電気設備技術基準など法律の全体像を理解できるよう心がけた。また電力需給、電気料金などの概要をはじめ、電力系統の運用など、実務に直結する内容を紹介した。	電気事業とそれを取り巻く課題と法制度の概要／電気法規の必要性と体系・歴史／電気事業法／電気工作物の保安に関する法規／エネルギー情勢と電気施設管理／電気設備技術基準（1）― 基本事項 ―／電気設備技術基準（2）― 電気工作物 ―／電気設備技術基準（3）― 電気使用場所と国際規格など ―／電気事故事例

【情報工学／経営・管理工学分野】

 	よくわかるサービスの科学 木下栄蔵（名城大名誉教授）・岸 博之（有限会社ヒロデザインラボ代表取締役）共著 ISBN 978-4-339-02957-4/A5 判/156 頁/定価 2,640 円/2026 年 9 月発行 本書はサービスの科学を主旨とした書籍です。特に、近年の技術発展に伴ったサービスと AI、意志決定にフォーカスした内容となっています。さあ！AI と人間の意志決定の共存した世界を目指し、サービスの科学を学んでいきましょう！	サービスサイエンスとは／サービスサイエンスと人間科学／サービスサイエンスと経済学／サービスサイエンスと数理工学／サービスサイエンスと情報工学／サービスサイエンスと AI, AHP／サービスサイエンスの運用／サービスサイエンスの未来像
 	ディペンダビリティ保証入門 ―安全分析・MBSE・アシュアランスケースによる統合アプローチ― 松野 裕（日大教授）・高井利憲（武庫川女子大教授）・岡本圭史（仙台高専教授）共著 ISBN 978-4-339-02959-8/A5 判/196 頁/定価 3,190 円/2026 年 9 月発行 オープンシステムの安全性や信頼性の確保に対応した「継続的ディペンダビリティ保証モデル」を提示し、本モデルを中心に新旧の安全分析、システム設計、合意形成の手法を解説。巻末の総合演習では、これらの手法を統合的に適用する。	ディペンダビリティの基礎／安全分析の基本手法：FTA と FMEA／安全分析手法 STAMP/STPA／モデルベースシステムズエンジニアリング（MBSE）／アシュアランスケースと D-Case による合意形成／総合演習：自動運転システムの安全性分析と保証／まとめと今後の展望

 	コンピュータグラフィックス技術の基礎と応用 牧野光則（中大教授）著 ISBN 978-4-339-02958-1/A5 判/220 頁/定価 3,300 円/2026 年 9 月発行 CG 画像・映像生成技術の基本や実際に作成するための基礎、CG 技術が利用されている VR・AR・MR などの臨場感・没入感提示システム、可視化技術などの概要と特徴を、数式表現は最小限とし基礎技術を軸として平易な表現で解説。	CG 概観/座標系、ディスプレイ技術/反射モデル、物体表面へのマッピング/レイトレーシング法/高速レンダリング——Z バッファ法——/形状モデリング/大域照明を考慮したレンダリング——ラジオシティ法、フォトンマッピング——/ボリュームレンダリング/クロスリアリティ/可視化
 	（バーチャルリアリティ学ライブラリ 4） ハプティクス 日本バーチャルリアリティ学会 編 嵯峨 智（熊本大准教授）・吉元俊輔（阪大准教授）編著 ISBN 978-4-339-02694-8/A5 判/392 頁/定価 4,950 円/2026 年 8 月発行 本書では、ハプティクスという言葉は、感覚としての触覚、技術としての触覚、この双方が密接につながる横断的な学問領域を指している。さらに計測手段、提示手段について記し、周辺技術も含めたハプティクスの応用技術を解説する。	生理学/心理学/計測法概論/身体運動・物理刺激・性質の計測/生理学実験と計測手法/知覚特性の測定・心理物理測定法/物理モデリング/センサー/触覚理解のための信号処理/提示法概論/振動刺激/力覚/温度感覚の提示/新しい触覚の提示手法/応用概論/触感を設計する/触感を評価する/触感を伝える/触感を変容する/触覚で代行する/触覚をエンタテインメントにする
 	（メディアテクノロジーシリーズ 13） Web テクノロジー —自然言語処理・検索・推薦・大規模言語モデル— 牛尼剛聡（九大教授）・佃 洸撰（産業技術総合研究所）編著 河合由起子（関西大教授）・若宮翔子（奈良先端科学技術大学院大准教授）・中島伸介（京産大教授）共著 ISBN 978-4-339-01383-2/A5 判/270 頁/定価 4,840 円/2026 年 8 月発行 インターネットと Web の基礎から機械学習、自然言語処理、情報検索・推薦、大規模言語モデルまでを体系的に解説。進化する Web サービスを支える原理と実装の要点を学び、現代の Web テクノロジーの全体像を理解できる入門書。	Web 技術の基礎と仕組み/機械学習/自然言語処理/情報検索/情報推薦/大規模言語モデルとその応用
 	（メディアテクノロジーシリーズ 12） Unity による 3DCG プログラミング —基本原理と実践— 藤代一成（慶大教授）編 石飛晶啓（デジタルコンテンツ制作会社）・杉田俊平（慶大）・徳永恵太（慶大）・青山昂平（デジタルコンテンツ制作会社）共著 ISBN 978-4-339-01382-5/A5 判/236 頁/定価 3,960 円/2026 年 3 月発行 CG 研究の着想を形にするには、自ら実装して確かめる力が必要である。本書は Unity を用い、モデリングからレンダリングまでの基本工程を体系的に紹介し、環境が変わっても通用する発想力と技術を身につけるための入門書である。	レンダリングパイプライン/ポリゴンメッシュ/カメラ/マテリアル/ライティング/GPGPU
 	（バーチャルリアリティ学ライブラリ 3） アート・エンタテインメントと XR 日本バーチャルリアリティ学会 編 山岡潤一（慶大准教授）編著 河野通就（カバー株式会社）・阪口紗季（東京都市大准教授）・土田修平（お茶の水女子大講師）・韓 燦教（東大特任講師）・村松 充（Takram）・吉田成朗（オムロン サイニックス株式会社）・柴崎美奈（東京都立大助教）共著 ISBN 978-4-339-02693-1/A5 判/180 頁/定価 3,190 円/2026 年 3 月発行 アート・エンタテインメント、そしてテクノロジー（VR や AI）は、たがいに影響を与え合いながら発展してきた。本書では新しい表現を追求するクリエイターや技術者に、新しい視点やアプローチを提供することを目的としている。	アート・エンタテインメントとは何か/XR 表現の実践と展開/アート・エンタテインメントに関係する XR 技術/XR 分野におけるアート・エンタテインメントの研究手法や評価/アート・エンタテインメントの展望

 	基礎力がつく Python プログラミング入門 富永和人（和情報網代表）著 ISBN 978-4-339-02956-7/B5 判/232 頁/定価 3,740 円/2026 年 3 月発行 豊富な例題と実践的なコードを通し、Python の基本からオブジェクト指向までを体系的に学べる入門書。「文法・機能解説」「コード例提示」「例題」の 3 ステップで、初学者でも理解を積み重ねながら実践に進めるようまとめた。	準備／使ってみよう／式と演算／式の基本要素／プログラムの実行（1）単純文・条件分岐／プログラムの実行（2）繰り返し／関数を作る／基本的な組み込み型（1）数値型・文字列型・リスト型／基本的な組み込み型（2）タプル型・辞書型・集合型／例外処理／クラス／ファイル処理（1）テキストファイル／ファイル処理（2）CSV ファイル・JSON ファイル
 	説明可能 AI 入門 一人と AI が共存する未来に向けてー 長尾智晴（横浜国立大名誉教授）著 ISBN 978-4-339-02954-3/A5 判/240 頁/定価 4,180 円/2026 年 2 月発行 本書は、「AI 技術者のための参考書」であった従来の書籍とは異なり、「利用者の立場になって AI を考える」をコンセプトにした AI の入門書である。AI と共存する未来のために必要な技術「説明可能 AI」について解説している。	人工知能と機械学習／機械学習の方法／ニューラルネットワークと深層学習／説明可能 AI とは／特徴量・内部状態の可視化／判断根拠の可視化／回路構造の軽量化・最適化／知識の転用・流用・代替／特徴量の最適化と機序の説明／処理の自動構築／生成 AI の説明性について／人工知能と説明可能 AI の今後の展望
 	ベイズ画像処理の基礎 片岡 駿（小樽商科大准教授）著 ISBN 978-4-339-02955-0/A5 判/292 頁/定価 5,280 円/2026 年 1 月発行 マルコフ確率場と呼ばれる確率的グラフィカルモデルに基づく画像処理の入門書。微積分と線形代数の知識を前提とし、必要となる確率・統計やグラフ、数値最適化等の様々な知識を網羅し、扱った内容にはできるだけ具体例を紹介した。	画像処理／グラフ理論／数値最適化法／確率分布／ベイズ推定／確率的グラフィカルモデル／確率分布の近似計算法／ベイズ画像処理の基礎／パラメータの扱い／離散マルコフ確率場を用いた確率的ノイズ除去モデル／ガウシアングラフィカルモデルを用いた確率的ノイズ除去モデル
 	（メディア学大系 16） メディアのための数学 一数式を通じた現象の記述ー 渡辺大地（東京工科大教授）・松吉 俊（東京工科大講師）・大淵康成（東京工科大教授）共著 ISBN 978-4-339-02777-8/A5 判/208 頁/定価 3,190 円/2025 年 11 月発行 CG・ゲーム、音声・音響・信号処理、人間社会モデルなどを題材に、数学理論の具体的な応用例を紹介。高校までに学んできた数学がどのように活用されるのかをわかりやすく解説した入門書。数学の実用性と魅力を再発見できる 1 冊。	数学の基礎／CG・ゲームのための数学／音声音響信号処理のための数学／人間社会モデルのための数学
 	強化学習アルゴリズム 長 隆之（理化学研究所チームディレクター）著 ISBN 978-4-339-02953-6/B5 判/252 頁/定価 4,840 円/2025 年 11 月発行 強化学習の論文の理解に必要な知識を網羅し、研究者に広く利用されている知識・手法を可能な限り解説。今後さらなる応用が期待される強化学習アルゴリズムについて、自ら論文を読み、最新の研究動向を理解する力を得ることを目指す。	数学的な準備／強化学習の定式化／価値関数の学習／オンポリシー型の方策の学習／オフポリシー型の方策の学習／オフライン強化学習アルゴリズム／モデルベース強化学習／発展的話題
 	（メディアテクノロジーシリーズ 11） インタラクショナルデザイン ー生活・技術・人をつなぐデザインのかたちー 五十嵐悠紀（お茶の水女子大准教授）編著 中村聡史（明大教授）・渡邊恵太（明大教授）・椎尾一郎（お茶の水女子大名誉教授）・福地健太郎（明大教授）・苗村 健（東大教授）共著 ISBN 978-4-339-01381-8/A5 判/216 頁/定価 3,740 円/2025 年 10 月発行 当たり前の「使いやすさ」を見直し、「良いインタラクショナルデザインとは何か」を具体的な事例を交えて解説。最終章には未来を見据えた対談を収録。発想を広げ、インタラクショナルデザインの本質に触れるきっかけとなる一冊。	インタラクショナルデザインって？／インタラクショナルデザインの失敗から学ぶ／インタラクショナルデザインにおけるマインドセットとプロトタイピング／生活志向のインタラクショナルデザイン／不特定多数を対象とするインタラクショナルデザイン／「できる」から「したい」に導くインタラクショナルデザイン／未来を考える

 	アルゴリズムとデータ構造を Excel VBA で学ぶ 猪股俊光（岩手県立大教授）・呉 書雅（岩手県立大准教授）共著 ISBN 978-4-339-02952-9／B5 判／176 頁／定価 3,300 円／2025 年 9 月発行 プログラミング能力向上のための基盤となるアルゴリズムとデータ構造を、業務で広く利用されている Excel VBA を用いて学ぶことができる。データサイエンス・AI 時代のためのアルゴリズムとデータ構造の入門書。	コンピュータの世界／プログラムの世界／VBA と開発環境／ワークシートの基本操作／プログラムの構造とデータ型／プログラムの実行制御／アルゴリズムと計算量／探索のアルゴリズム／整列のアルゴリズム／リスト構造とアルゴリズム／木構造とアルゴリズム／ファイルとデータベース／データサイエンスの世界／AI の世界
 	数理でひもとく AI 技術の深化ーボルツマンマシンとたどる最先端への道ー 恐神貴行（IBM 東京基礎研究所）著 ISBN 978-4-339-02951-2／A5 判／160 頁／定価 2,860 円／2025 年 7 月発行 ホップフィールドネットワーク、イジング模型、イジングマシン、ボルツマンマシンを通して AI 技術の基礎から最先端を学ぶ。数式を活用しつつ、日本語でも丁寧に説明。理系大学生のみならず、新たな知見や気付きを求める専門家にも。	はじめに／ホップフィールドネットワークと連想記憶／イジング模型と相転移／イジングマシンと最適化／ボルツマンマシンと生成モデル
 	（シリーズ 情報科学における確率モデル 12） コピュラ理論の基礎 江村剛志（広島大教授）著 ISBN 978-4-339-02842-3／A5 判／168 頁／定価 2,970 円／2025 年 6 月発行 本書は、さまざまな確率変数間の相関構造をモデリングするのに有用な関数であるコピュラの理論と、広く応用されるコピュラの代表例を、基礎的・本質的な事項に焦点を絞り網羅的に解説した。巻末では分野の背景と重要文献を紹介する。	確率の基礎とコピュラの概要／コピュラの定義と基本定理／パラメトリックコピュラ／相関の尺度／アルキメデスコピュラ／多変量コピュラ
 	（メディアテクノロジーシリーズ 10） 音楽制作ープログラミング・数理・アートー 松村誠一郎（東京工科大教授）編著 今井慎太郎（国立音大准教授）・森本洋太（早大准教授）・田所 淳（前橋工科大准教授）・田中 翼（東京藝大非常勤講師）・後藤 英（東京藝大教授）共著 ISBN 978-4-339-01380-1／A5 判／288 頁／定価 4,840 円／2025 年 4 月発行 AI の登場以前から用いられてきた音楽制作の技法にはじまり、プログラミングで音楽や音響を作り出す手法、作曲や音列の生成を数理の面から捉える分野、音を軸としたメディアアートなど、第一線で活躍の執筆陣が幅広く解説する。	電子音楽の制作ツール／ライブコンピュータ・エレクトロニクス／音響コンポジション／ライブコーディング／作曲技法と数理／メディアアートとミュージックテクノロジー

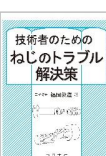
【計測・制御工学分野】

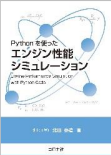
 	（計測・制御セレクションシリーズ 8） 騒音・振動の計測と制御ー理論から自動車開発の実用例までー 計測自動制御学会 編 佐野 久（佐野久塾リサーチラボ代表）・足立修一（慶大名誉教授）共著 ISBN 978-4-339-03388-5／A5 判／312 頁／定価 5,720 円／2026 年 10 月中旬刊行予定 騒音・振動の基礎的な知識は研究開発で遭遇する技術課題の解決に役立つ。計測と解析に必要なデジタル信号処理と振動工学・音響工学、騒音・振動のアクティブ制御を 1 冊で同時に学べ、自動車の騒音・振動の開発を実用例として解説。	自動車における騒音・振動課題／FFT アナライザのための信号・システム理論／騒音・振動の計測／騒音・振動の伝達経路と解析／振動のパッシブ制御／騒音のパッシブ制御／振動のアクティブ制御／騒音のアクティブ制御
--	--	---

	(シリーズ システム・制御のニューフロンティア D-1) ネットワークシステムの分散協調制御 畑中健志 (東京科学大教授)・船田 陸 (京大講師) 共著 ISBN 978-4-339-03404-2/A5 判/236 頁/定価 4,290 円/2026 年 5 月発行 ネットワークシステムでは、複数の動的サブシステムがネットワークで接続されたサブシステムの情報のみを利用してネットワーク全体の目的を達成することが求められる。本書ではこのような分散協調制御を網羅的に解説した。	序論/受動性と安定性/同期制御/分散最適化/被覆制御/制御バリア関数に基づく制御
	(シリーズ システム・制御のニューフロンティア A-1) システムとサイバネティクスの思想 西田洋平 (東海大准教授) 編著 下西風澄・廣田隆造 (東大大学院特任研究員)・新倉貴仁 (成城大教授)・河井延晃 (実践女子大専任講師)・椋本 輔・橋本 渉 共著 ISBN 978-4-339-03403-5/A5 判/288 頁/定価 5,280 円/2026 年 3 月発行 本書はサイバネティクスと呼ばれるシステム論とそれにまつわる思想を扱う。理工系分野では最新の知見が重視されることが多いが、その背景にある思想や歴史からそれらを捉え返すことで読者の視界を広げ、思考を深めることを企図した。	システムとサイバネティクスの思想/制御の思想とその「転回」:サイバネティクスからセカンド・オーダー・サイバネティクスへ/生命が呼ぶ意識、意識が運る生命:フランシスコ・ヴァレラの自己生成論/エナクティブ・アプローチの現在:その原理と展開/サイバネティクス以前の制御:大量生産、事務機械、軍事技術/思想としてのオートメーションと自由:VSM(存続可能システムモデル)における多様性工学とメタデザイン/ネオ・サイバネティクスに基づくデザイン論:コミュニケーションを通じた関係性の制御としてのデザイン
	Pythonで始めるスワーム制御プログラミング 角田祐輔 (兵庫県立大助教)・今林 亘 (日大専任講師)・小蔵正輝 (広島大教授) 共著 ISBN 978-4-339-03249-9/B5 判/104 頁/定価 2,530 円/2026 年 2 月発行 自然界の群れをなす生物の振る舞いに着目し、ロボットや分散システムに活かそうとするスワームシステム、マルチエージェントシステムについて、Pythonのプログラミングを交え、解説している。	「群れ」を作ってみよう!/Boids モデルをPythonで作ってみよう!/スワーム制御をやってみよう!/群れモデルの紹介とPythonによる実装/シーブドッグモデルの紹介とPythonによる実装/「群」に関する諸研究
	(シリーズ システム・制御のニューフロンティア C-2) 自律的行動創発システムと身体性 ―機械獣の構成論― 吉田尚人 (京大特定研究員) 著 ISBN 978-4-339-03402-8/A5 判/236 頁/定価 4,290 円/2026 年 1 月発行 ロボットにおける恒常性という観点に基づく行動創発を構成論的に追求。エージェントが身体の内外部状態を保つための行動最適化という技術を扱い、外在的に定められた意味や目的を持たない生活体としての自律機械を機械獣と呼び解説。	はじめに/人工システムにおける生存/強化学習/恒常性強化学習/深層恒常性強化学習/機械獣の構成/機械獣研究の展開/おわりに
	(シリーズ システム・制御のニューフロンティア C-1) 身体性知能とシステム・制御 大脇 大 (東北大准教授)・福原 洸 (東北大助教)・増田容一 (阪大助教) 共著 ISBN 978-4-339-03401-1/A5 判/330 頁/定価 5,940 円/2025 年 10 月発行 物理的実体と環境との相互作用である身体性に立脚した知能のコンセプトを平易に紹介しつつ、生物やロボットの移動運動や知覚認知といった具体的な事例からさまざまな知能に通底する身体性の輪郭を浮かび上がらせることを試みた。	身体性に立脚した知能の概念と本書の目的/受動歩行と身体性/アクチュエータ特性から生じる運動知能/脚式移動ロボットの身体性に基づく脚協調制御/全身協調運動にみるシステムのつなぎ方/群れシステムと身体性、多様な相互作用のあり方/身体性に基づくシステム・制御の将来展望/1~7章の概要
	理解しやすい制御工学 柴田 論 (愛媛大教授)・穆 盛林 (愛媛大准教授)・西村悠樹 (岡山大教授)・熊澤典良 (鹿児島大准教授)・山本智規 (愛媛大教授) 共著 ISBN 978-4-339-03250-5/A5 判/218 頁/定価 3,410 円/2025 年 5 月発行 学習者の意欲を低下させる「自明である」「省略する」を排除し、本文や問題、図表、解答に至るまで一つひとつのステップを丁寧に解説。これでもう、置いていけない・置いていかれない。「理解しやすさ」を追求した制御工学の教科書。	自動制御とは/微分方程式とラプラス変換/伝達関数/制御系の過渡特性/制御系の定常特性/周波数特性/制御系の安定性/制御系の設計

【機械工学分野】

 	金属疲労 ー現象の理解から設計の基礎へー 日本材料学会 疲労部門委員会 編 ISBN 978-4-339-04725-7/B5 判/124 頁/定価 2,860 円/2026 年 10 月下旬刊行予定 金属疲労が関与する事故は、科学技術の発展する昨今においても後を絶たない。本書では、個別の知識の本質的理解だけではなく、「何を考えるべきか」を重視した解説により、堅実な実務を達成する十全な「学識」を養う。	疲労設計の重要性/材料の疲労特性を評価する方法/金属疲労のメカニズム/疲労特性に影響を及ぼすさまざまな因子/良好な疲労特性を発現させるための方策/疲労設計の考え方
 	機械工学のための数値モデリングと現象解析入門 中谷彰宏（阪大教授）著 ISBN 978-4-339-06137-6/A5 判/232 頁/定価 3,850 円/2026 年 9 月発行 本書ではまず数値モデルとは何かという問いからスタートし、現象をよく表す方程式をいかに発見するかということについて述べる。また、現象を理解するには多変数の関係性を捉えることが不可欠であり、偏微分方程式を中心に解説する。	数値モデリングとは何かー現象解析序論/物理量の関係性-次元解析と無次元数-/システムの状態の偏微分方程式による記述/発展方程式による未来予想/隠れた系の存在と力学の安定性問題/コンピューターによる現象解析
 	防錆油 ー基礎から実用までー 長瀬直樹（出光興産（株））著 ISBN 978-4-339-04724-0/A5 判/216 頁/定価 3,740 円/2026 年 8 月発行 防錆油の種類、作用、適用、評価方法から防錆油に関わる材料、環境、前後工程の影響、さらには今後の展望までを解説する。本書の内容は、社内および社外への技術伝承、防錆油に関わる技術者の育成ツールとして活用することもできる。	防錆油/防錆油の関わる工程、環境/防錆油の性能低下の原因と対策：材料/防錆油の性能低下の原因：環境/防錆油の性能低下の原因と対策：前工程/防錆油の後工程への影響と付加価値向上/SDGs, LCA, CE, CNに向けたこれからの防錆技術
 	（設計工学フロンティアシリーズ 11） 設計のための発想力 村上 存（東大教授）著 ISBN 978-4-339-04711-0/A5 判/192 頁/定価 3,300 円/2026 年 8 月発行 発想を設計工学の観点から概観し、発想の性質を認知心理学や認知神経科学の知見、技術者やデザイナーの経験則などに基づき概観した。本書における発想法の分類を提示し、思考の内容や構造化、解候補の生成による設計法を紹介した。	設計のための発想力：“what is”と“how to”/設計における思考/発想の性質/発想法の分類/思考の内容に関する示唆による発想法/思考の構造化による発想法/解候補の生成による発想法/設計・創造力・発想力の教育/まとめ
 	ロボット運動計算論 山本 江（筑波大教授）・鮎澤 光（産業技術総合研究所上級主任研究員）・石垣泰暉（東京理科大助教）共著 ISBN 978-4-339-04723-3/A5 判/288 頁/定価 4,290 円/2026 年 5 月発行 本書では、近年の高速なロボット運動の力学シミュレーションとそれに伴う「運動の最適化」としての制御の重要性の高まりを背景に、6 次元ベクトル演算を用いた運動学・動力学の計算理論を体系的に解説する。	ロボットの機構と運動計算の基礎/順運動学/微分運動学/逆運動学/剛体リンク系の運動方程式/ニュートン・オイラー運動方程式と逆動力学計算/順動力学シミュレーション/ロボット制御の基礎/最適化のための包括的運動計算と剛から柔への展開
 	（設計工学フロンティアシリーズ 1） 構想設計の方法論 ーディスラプションからトランジションへー 藤田喜久雄（阪大教授）著 ISBN 978-4-339-04701-1/A5 判/544 頁/定価 9,350 円/2026 年 4 月発行 主軸となる代表的な方法論を順序立てて活用しつつ、価値提供に向けたストーリーを論じる。あわせて、構想設計を論じていくための学術的な基盤のみならず、構想設計を中長期的な経営の中に位置付けていく上での指針を描き出す。	構想設計を要請する/構想設計を位置付ける/構想なるものを規定する/起点を設ける/論点を広げる/目標を定める/構想を描き出す/構想を練り上げる/構想を展開していく/学習を促していく/展開を拡大していく/プロジェクトを動かしていく/構想を超えていく/構想設計に挑んでいく

 	解いて学ぶ 材料力学のポイント 今井郷充（日大教授）著 ISBN 978-4-339-04721-9／A5判・2色刷／192頁／定価2,970円／2026年4月発行 高専・大学の初学者に向けた、多くの例題を解きながら学ぶスタイルの教科書。各例題では考え方や用いる式、章末の演習問題との対応を表示。重要事項の枠囲みやポイントを示す【注】、章末のまとめ等、多くの工夫で理解がしやすい。	材料力学とは／力とモーメント／引張と圧縮による応力とひずみ／引張の応用問題／せん断とねじり／曲げ／曲げの応用問題／応力の座標変換と組合せ応力／弾性破壊の説／弾性ひずみエネルギー
 	金属疲労の基礎と疲労強度設計への応用（増補） 中村 宏（龍谷大名誉教授）・堀川 武（龍谷大名誉教授）・松原 剛（名城大教授）共著 ISBN 978-4-339-04722-6／A5判／292頁／定価4,620円／2026年4月発行 企業の設計技術者が活用できる参考書の増補版。内容の改訂、データの追加によりさらなる充実を図り、設計者を悩ませる応力集中部、多軸応力部、欠陥部、鋳鋼材の疲労強度評価法として、実用的な方法を新しく追加した。	疲労強度設計の基礎／金属疲労強度の基礎知識／疲労強度の影響因子／実働荷重と疲労寿命／疲労き裂進展と疲労寿命／機械部品の疲労と疲労強度設計
 	生産加工・工作機械学 杉田直彦（東大教授）・吉岡勇人（東大教授）・河野大輔（京大准教授）・柿沼康弘（慶大教授）・中本圭一（東京農工大教授）共著 ISBN 978-4-339-04720-2／A5判／240頁／定価3,630円／2026年3月発行 機械工学の中核をなす生産加工技術と工作機械の両分野について、その理論と実践を一冊で総合的に学べる教科書。平易な解説と多くの図表、具体例、演習問題を通し、将来の技術者・設計者が実務や開発の現場に臨む力を養う。	ものづくりとは／工作機械の構造と構成要素／形状創成理論と工作機械の幾何学モデル／工作機械の構造設計／工作機械の制御／切削理論／切削加工の実際／切削の不安定現象／研削加工および砥粒加工／CAM システム／工程設計と品質管理／生産システム
 	ロボットハンド技術ハンドブック ―その体系的理解：実用・理論・展望― 川村貞夫（立命館大特別招聘研究教授）・平井慎一（立命館大教授）監著 ISBN 978-4-339-04697-7／B5判／304頁／定価11,000円／2025年12月発行 本書はロボットハンドに特化して、現場での利用法、基礎理論、ハードおよびソフトの関連技術などを網羅した。さらに、今後の新しいロボットハンドの技術開発に参考となる、学術的考察やビジネスとしての視点も含めた展望も記載！	ロボットハンドリング現状概観／リジッドハンド／ソフトハンド／吸着ハンド／システム構成／アクチュエータ／センサ／認識／ハンドリング計画／ロボットハンド開発例／産業用ロボットによる実装例／リジッドハンドの理論／ソフトハンドの理論／今後のための課題整理
 	固体材料の強度と物性評価のための 分子動力学法入門 梅野宜崇（東大教授）著 ISBN 978-4-339-04699-1／A5判／174頁／定価3,080円／2025年12月発行 原子レベルの動的挙動をシミュレーションにより観察する「分子動力学法」。本書では固体材料に対象を絞り、それらの機械的特性評価のために同手法の基礎理論から解説する。さらに、同手法のプログラミング演習を初歩の段階から掲載。	分子動力学法とは／分子動力学法の基礎／原子間ポテンシャル／分子動力学法による物性評価／プログラミング演習
 	技術者のための ねじのトラブル解決策 福岡俊道（神戸大名誉教授）著 ISBN 978-4-339-04698-4／A5判／296頁／定価5,280円／2025年11月発行 ねじ締結部の強度設計や組み立て工程の考案などに携わる技術者を対象に、「確実な締め付け」、「ゆるみの防止」、「疲労破壊の防止」を解決するため、実際の事例を交えながら関連する理論を平易に解説し、実務に役立つ知識を提供する。	ねじの歴史と役割／ねじの三大難問とは？／ねじ締結部設計の基礎／確実な締め付けへの挑戦／ねじのゆるみ防止への挑戦／ねじの疲労破壊防止への挑戦

 	機械系のための力学通論 近藤孝広（九大名誉教授）著 ISBN 978-4-339-04696-0／B5 判／380 頁／定価 4,840 円／2025 年 11 月発行 動力学の体系的な基礎知識を確実に習得するための 1 冊。機械や構造物の動的挙動に焦点を当て、大学初年度で学ぶ一般力学から専門課程において学ぶ機械力学や機械振動学に至るまでを、一貫した視点と統一的な表現で解説した。	力学を学ぶ際の心構えと基礎知識／ベクトルの基本的性質／点の運動の数学的表現法／運動の法則／1 自由度系の振動／運動量と力積／エネルギーと仕事／角運動量と中心力／相対運動／質点系の力学／剛体の運動／解析力学の基礎／回転機械の力学／線形多自由度系の振動／連続体の振動／振動制御
 	Python を使った エンジン性能シミュレーション 北田泰造（元三菱自動車工業（株））著 ISBN 978-4-339-04695-3／A5 判／270 頁／定価 4,840 円／2025 年 10 月発行 エンジンの性能評価のための燃焼モデルの構築と燃焼温度の導出に必要な化学平衡計算について解説する。本書では、インタープリタ型言語である Python を使い、性能評価のためのシミュレーションの進め方をわかりやすく説明した。	エンジン性能シミュレータ／吸排気脈動計算／エンジン性能計算／化学平衡計算／Gibbs 自由エネルギー極小化法による化学平衡計算／燃焼サイクル計算／一酸化窒素を含めた燃焼サイクルの計算
 	（機械系コアテキストシリーズ A-2） 部材の力学 ―設計のためのはり・板・殻の弾性力学― 渋谷陽二（阪大名誉教授）著 ISBN 978-4-339-04532-1／A5 判／260 頁／定価 4,070 円／2025 年 9 月発行 本書は、典型的なはり、棒、板、殻といった部材に弾性力学理論を適用した枠組みを「部材の力学」としてまとめた。機械構造物を構成する部材から、材料を構成する基本内部構造を構成する部材に至るまで適用範囲は広がっている。	部材の力学とは／弾性力学の基礎／はりとは棒の力学／板の力学／殻の膜変形／殻の曲げ変形／はり・板の大たわみと座屈（幾何学的非線形性と力学的不安定性）
 	現場で役立つ応用力を養う 工業力学入門 長松昭男（東京科学大名誉教授・キャテック（株））・長松昌男（北海道科学大准教授）共著 ISBN 978-4-339-04694-6／A5 判／360 頁／定価 5,940 円／2025 年 5 月発行 本書では長年にわたる著者の経験を活かし、現象から本質を見抜く勘と洞察力、複合領域を横断して見通す総合力・水平思考力、ものづくり過程で日々生じる様々なトラブルに対処する能力など、現場で役立つ応用力を養うことを目指す。	力／運動／力と運動の関係／質点の動力学／エネルギー原理／運動量と角運動量／剛体の動力学／振動
 	実験の計画と統計的データ解析 宮城善一（明大教授）・榎原研正（産業技術総合研究所名誉リサーチャー）共著 ISBN 978-4-339-03248-2／A5 判／176 頁／定価 2,750 円／2025 年 5 月発行 本書では実験の考え方、実験計画の立て方、統計的解析を基礎としたデータ解析法を学習する。また、測定における誤差や精度などの考え方に加え、測定結果の信頼性を表現するための不確かさの考え方とその表記方法についても説明した。	科学・工学における実験／実験の構成／測定データの統計的解析／測定の不確かさ／相関と回帰 ―実験変数間の関係の解析―／最小二乗法による実験式のあてはめ／検定と推定 ―実験結果の有意性の検証―／実験計画法による因子実験とデータ解析／直交配列表による多因子実験と実験データ解析／回帰分析による実験式の直線性の検証

【土木工学分野】

 	地盤技術概論 ―新しい地盤の工学への序論― 栗原則夫（元西日本高速道路エンジニアリング関西（株）代表取締役）・末岡 徹（（株）キタック顧問） ＋ 今村遼平（（株）ユニテック顧問）・上野将司（応用地質（株）社友）共著 ISBN 978-4-339-05286-2／B5 判／294 頁／定価 5,500 円／2026 年 10 月上旬発行予定 土木・地質技術者の協働により、地盤技術の歴史・基礎学問・設計思想を総括し、地盤構造物の調査から設計までを体系的に示した初の総合書。地盤力学と応用地質学を現場視点で統合し、地盤技術の全体像を明確にした実務者必携の一冊。	地盤技術の歴史／地盤技術の概要／地盤の形成と構造／地盤の構造の調査／地盤構造物の設計／これからの地盤技術
--	---	---

 	プロジェクトマネジメントとは何か ー「計画の遂行」から「価値の生成」へー 桑子敏雄（コンセンサス・コーディネーターズ代表理事）著 ISBN 978-4-339-05285-5/A5 判/192 頁/定価 2,860 円/2026 年 5 月発行 本書は、ルーティンとプロジェクトという行為についての考察を基盤として、現在のわれわれが直面している予測困難な環境下におけるプロジェクトマネジメントの理論構築と実践方法について根本から問い直すことを目的としている。	ルーティンとプロジェクトを理解する／ルーティンの安定性／ルーティンとリスク／プロジェクトはなぜ始まるのかーその必要性和構想ー／プロジェクトの構成要素／プロジェクトの推進体制ー人と関係のデザインー／プロジェクトを動かす中核的営みーコアマネジメントー／複数のプロジェクトをどう束ねるかープログラムとポートフォリオー／プロジェクトマネジメントの理論はどのように発展してきたか／価値生成のプロセスとプロジェクトマネジメント／危機の時代の価値生成型プロジェクトマネジメントの意義と役割
 	標準 農業土木・土木職採用試験問題集 古澤秀忠（神奈川県立吉田島高校）・大村光臣（元群馬県立吾妻中央高校）共著 ISBN 978-4-339-05284-8/B5 判/104 頁/定価 1,870 円/2026 年 3 月発行 日常の専門学習の基礎を復習し、さらに効率よく応用力をつけるために編集した実践的な問題集である。それぞれの問題は、過去に公表された実際の試験問題や、長年にわたって諸先生方が作成してきた対策問題などを参考にして作成した。	数学・物理／農業土木設計・土木構造設計／農業土木施工・土木施工／水資源／測量／社会基盤工学／農業と環境・情報
 	新 測量学 ー基礎から実践までー 羽柴秀樹（日大教授）・野中崇志（日大教授）・朝香智仁（日大教授）・園部雅史（日大准教授）共著 ISBN 978-4-339-05283-1/B5 判/182 頁/定価 3,300 円/2025 年 10 月発行 本書では、これから土木・建築分野の専門的な工学体系を学びはじめる人に対して、測量を学問体系として学び、それを実践的な技術に展開していくプロセスをわかりやすく解説した。また、測量士・測量士補の国家試験に対応している。	測量の基礎知識／基準点測量／水準測量／地形測量及び写真測量／リモートセンシング／地図編集および GIS／応用測量／工事測量／測量業務の積算／基本的な測量機器の取扱い

【数学】

 	数理工学のための線形代数 ー線型代数の新しい地平ー 佐藤一宏（東大准教授）著 ISBN 978-4-339-06136-9/A5 判/312 頁/定価 4,950 円/2026 年 3 月発行 抽象的な線形代数学を、数理工学の現代的な課題へ拡張した「広義の線形代数」を体系的に学べる一冊。従来の教科書で扱いの少ない商集合を取り上げ、また頻出のジョルダン標準形の位置づけを見直すなど構成に工夫を施している。	準備／代数学の基本事項／加群／整域上の行列の行列式／ユークリッド整域上の行列の標準形／非負行列とその応用／多項式の積と高速フーリエ変換／数理工学への案内
 	代数学と符号暗号理論 ーPythonによる実装ー 寺杣友秀（法政大教授）著 ISBN 978-4-339-06135-2/A5 判/202 頁/定価 3,300 円/2025 年 10 月発行 代数学の基礎となる初等整数論から始め、暗号理論、符号理論で共通に使われる知識を準備する。また、紹介した理論が応用に耐えうるものかを実感にくい場面もあるので、Pythonによる演習を入れた。	初等整数論／暗号理論／符号理論
 	愉しむ線形代数入門 太田有三（神戸大名誉教授）・和田孝之（兵庫県立大教授）共著 ISBN 978-4-339-06134-5/B5 判/300 頁/定価 5,610 円/2025 年 8 月発行 天下り的な定義や定理の記述と証明というスタイルを極力避け、それを考える必要性・動機を説明し、その問題を解いていくための考え方・方法を説明しようと心がけた。最後に線形代数がどのように適用されているか制御的観点から紹介。	記号、表記法／行列、ベクトルに対する演算／消去法、行標準形、逆行列／行列式／固有値と固有ベクトル、対角化／ベクトル空間／行標準形-再論-／基底、線形写像、不変部分空間と行列表現／擬似逆行列／実対称行列、エルミート行列／ノルム／ジョルダン標準形の導出／線形時不変システムの解と安定性／現代制御理論への応用

【化学・化学工学分野】

 	材料の数理モデリング マルチスケール材料シミュレーション 伊藤公久（早大教授）・国吉ニルソン（早大教授）・鈴木進補（早大教授）・平田秋彦（早大教授）・細井厚志（早大教授）・山本知之（早大教授）共著 ISBN 978-4-339-06677-7/B5 判/166 頁/定価 3,300 円/2026 年 5 月発行 材料科学に必須の「マルチスケール材料シミュレーション」の基本を 1 冊で体系的に学べる入門書。単一のスケールや現象にフォーカスした理解だけでなく、俯瞰して複数の側面から物質を眺めるかたちで理解を深められる。	本書の目的, 全体像/量子化学計算/第一原理計算/分子動力学計算/有限要素法/伝熱・凝固解析/粒子法による流体運動の計算/状態図計算
 	もう一步先へ進みたい人の 化学でつかえる線形代数 北條博彦（東大教授）著 ISBN 978-4-339-06133-8/A5 判/224 頁/定価 3,740 円/2025 年 7 月発行 本書は, 線形代数を化学をより深く理解するためのツールと捉え, 化学の問題の中から線形代数的な要素をもつものを取り上げながら, 線形代数の用語やルールを解説する。化学者の目線で線形代数を読み解く一冊。	分子構造/結晶格子/対称性と群論/分子力学/多変量解析/量子化学
 	分子分光学の基礎 星野翔麻（東京理科大講師）著 ISBN 978-4-339-06674-6/A5 判/232 頁/定価 3,630 円/2025 年 5 月発行 分子分光学の原理的側面を基礎的な物理化学・量子論の立場から解説。マイクロ波分光法, 赤外分光法, ラマン分光法, 電子遷移などの分光法で得られるスペクトルから分子の幾何学的構造や電子構造の決定過程を簡単な分子を例に説明。	序論一分光学からわかることー量子論の基礎/原子・分子の量子論/分子の振動運動と回転運動/光と分子/回転分光学/振動分光学/ラマン分光学/電子遷移/分子の対称性と分光学

【生命科学・農学分野】

 	昆虫工学 ー新しい価値を創造する「昆虫の知能」の解明と応用ー 神崎亮平（東大シニアリサーチフェロー）監著 櫻井健志（東京農大教授）・並木重宏（東大准教授）・光野秀文（東大特任准教授）・祐川侑司（東大特任助教）編著 ISBN 978-4-339-06766-8/B5 判/240 頁/定価 4,620 円/2026 年 7 月発行 全生物種の 50%以上を占める昆虫の知能は, 自然と協調した, 未知の課題解決の宝庫。昆虫の知能を支える感覚・脳・行動のしくみと, それらに応用した技術や研究の最前線を紹介。新しい学問的視座と価値創造の可能性に触れる。	行動/中枢処理/昆虫のセンサ(感覚器)の構造と機能/昆虫機能の工学応用/昆虫のセンサに関わる工学応用/昆虫の中枢処理に関わる工学応用/昆虫の行動に関わる工学応用
 	(バイオインフォマティクスシリーズ 8) ケモインフォマティクス 浜田道昭（早大教授）監修 山西芳裕（名大教授）・海東和麻（産業技術総合研究所研究員）・岩田通夫（九工大准教授）・金子弘昌（明大教授）共著 ISBN 978-4-339-02738-9/A5 判/246 頁/定価 4,400 円/2026 年 5 月発行 本書では, 化合物の化学構造やオミクスデータを情報解析する広い意味でのケモインフォマティクスに着目し, 分子・材料設計や新規物質創製, 創薬などの化学的な課題を解決するための統合的なアプローチを紹介し, 解説している。	ケモインフォマティクスの基本的な考え方/化合物・タンパク質間相互作用解析/化合物のオミクス解析/分子設計/構造生成器/材料設計/スペクトル解析/ソフトセンサー

 	(バイオインフォマティクスシリーズ 7) エピゲノム情報解析 浜田道昭 (早大教授) 監修 中戸隆一郎 (東大准教授) 著 ISBN 978-4-339-02737-2/A5 判/190 頁/定価 3,410 円/2025 年 8 月発行 ゲノムはその配列情報のみならず、配列の修飾状態 (エピゲノム) や核内における立体的構造などを利用してその機能を適切に発現させている。シークエンサーを用いたエピゲノム・立体構造情報の全ゲノム的な解析の全体像を解説した。	エピゲノム情報とは/ヒストン修飾、転写因子結合/DNA メチル化/オープンクロマチン、ヌクレオソーム/ゲノム三次元構造/エピゲノムデータベースと大規模解析
---	---	--

【環境・エネルギー分野】

 	環境化学工学 ―環境諸課題と環境技術の体系的な理解― 中島江梨香 (中部大講師) 編著 行本正雄 (中部大名誉教授)・野々部顕治 (野々部技術士事務所 (株)) 共著 ISBN 978-4-339-06679-1/A5 判/190 頁/定価 2,970 円/2026 年 10 月発行 環境工学とは、私たちが自身の生存基盤を脅かすほどに地球に与えている負荷に対して、科学と工学の視点から具体的な解決策を見出していく学問である。本書では、社会の文脈に合わせて最も適切な選択肢を導き出す社会実装力を養う。	地球と人類と物質循環/環境汚染と法整備/水の保全と安全な水の供給/廃棄物管理と循環型社会の構築/エネルギー資源と持続可能な社会/放射能・放射線と環境エネルギー/グリーンケミストリーとグリーンエンジニアリング: 持続可能な社会を支える化学と工学
 	水素エネルギーの科学と技術 ―カーボンニュートラル実現のキーテクノロジー― 日本エネルギー学会 編 ISBN 978-4-339-06676-0/A5 判/260 頁/定価 4,620 円/2026 年 1 月発行 水素の構造から、金属材料中の水素の存在状態、エネルギーとしての水素、水素を含む物質の性能にも触れつつ、水素利用技術や水素製造技術も紹介した。また、水素を原料とする化学物質にも焦点を当て、その経済性の考え方にも触れた。	水素の基礎/エネルギーキャリアの概要/固体貯蔵/化学変換/水素の製造技術/水素の利用技術/水素利用の経済性
 	(シリーズ 21 世紀のエネルギー 16) 核融合炉入門 ―フュージョンエネルギーへの道― 日本エネルギー学会 編 岡野邦彦 (元慶大教授・(株)ODAC 取締役) 著 ISBN 978-4-339-06838-2/A5 判/176 頁/定価 2,860 円/2025 年 5 月発行 核融合炉開発の現状に至る経緯、実用化に近づきつつある最先端の研究をわかりやすく解説する。第 1 章だけで核融合炉の概要を把握できるよう構成し、以降では内容を深め、範囲も広げ、失敗の歴史や見えにくい事情にも言及した。	フュージョン炉の基本/フュージョン炉に関するよくある疑問と回答/磁場方式フュージョン炉/資源量と燃料増殖の仕組み/ITER 計画の進捗と目標/イノベーションの歴史と期待/磁場フュージョン炉の概念設計と経済性/慣性 (レーザー) 方式フュージョン/ベンチャーによる早期実用化の実情/実用化に向けた開発計画/今後に向けての提言

【ME・医学・福祉分野】

 	新 医用材料工学 ―バイオマテリアルの基礎から DDS、再生医療への応用まで― 堀内 孝 (三重大名誉教授・京都橋大特任教授)・村林 俊 (元北大准教授)・宮本啓一 (三重大教授) 共著 ISBN 978-4-339-07285-3/A5 判/208 頁/定価 2,860 円/2026 年 7 月発行 ロングセラー「医用材料工学」の内容を刷新。再生医療用材料、DDS 材料の章を新たに加え、臨床工学技士のみならず医療機器開発を目指す次世代の医療技術者たちの盤石な知識を育てる。基礎材料工学と臨床工学を融合した教科書。	臨床の中の医用材料/医用金属材料/医用無機材料 (バイオセラミックス)/医用高分子材料 I (合成高分子)/医用高分子材料 II (生体由来高分子)/ドラッグデリバリー材料/再生医療用材料/材料・生体相互作用と医用材料の生体適合性/医療機器および医用材料の安全性評価/医用材料の滅菌
--	--	--

 	五訂版 放射線機器学 (I) -X線撮影機器・診療画像機器- 小倉 泉 (都立大名誉教授)・根岸 徹 (都立大准教授) 監著 齋藤祐樹 (帝京大教授)・沼野智一 (都立大教授)・安部真治 (都立大客員教授) 共著 ISBN 978-4-339-07284-6/B5 判/308 頁/定価 5,390 円/2026 年 3 月発行 X 線発生装置は変圧器式からインバータ式装置へ、医用画像機器はアナログからデジタルへ完全に移行した感がある。令和 7 年版診療放射線技師国家試験出題基準を参考に旧版の内容に最新情報を考慮し各項目の全般的な見直しを行った。	総論/X 線発生装置/X 線映像装置/診断用 X 線画像処理装置/関連・付属機器/診断用 X 線装置システム/医用 X 線 CT 装置/診断用 X 線装置の管理/磁気共鳴画像診断装置/超音波画像診断装置/眼底写真撮影装置 (眼底カメラ)
 	金属バイオマテリアル -医療用金属材料- 塙 隆夫 (東京科学大名誉教授)・米山隆之 (日大教授) 共著 ISBN 978-4-339-07283-9/A5 判/168 頁/定価 2,970 円 2025 年 7 月発行 2007 年に発刊した「金属バイオマテリアル」(バイオマテリアルシリーズ 1) を大幅に改訂。材料工学を専門とする学生や技術者、工学系の他の分野や医歯学系で金属材料を学んでいない方々を対象に、全体像を概観できるよう執筆。	バイオマテリアルとしての金属/どこに使用されるのか—臨床応用例と課題—/どんな材料が使われているのか—金属バイオマテリアルの種類と性質—/人体内でどのように変化するのか—耐久性とその評価—/金属材料は人体に安全か—安全性と生体適合性—/金属材料を生体適合化・生体機能化する—表面処理、表面形態制御—/いかにして製品となるか—承認・認証制度—

【理学】

 	広域プラズマ科学入門 -プラズマ特性・診断の基礎と地上から宇宙までの多面的応用展開- 篠原俊二郎 (東京農工大名誉教授) 著 ISBN 978-4-339-06678-4/B5 判/212 頁/定価 4,290 円/2026 年 9 月発行 展開を続ける広域プラズマ科学の、基礎から先端的应用までを一冊で網羅。診断法も加え、幅広い視点からの解説によってプラズマ現象の多角的・体系的な理解が可能。発展内容についても詳細な説明を付し、レベルに応じて学習できる。	はじめに/プラズマの基本的性質/電磁場中の荷電粒子の運動/磁気流体としてのプラズマ/輸送現象/プラズマの平衡と安定性/基礎プラズマ波動/プラズマ診断法/広域プラズマ科学の展開
 	房総半島の地層と岩石のフィールドガイド -チーバくんと探る大地の成り立ち- 伊藤 慎 (千葉大名誉教授) 編著 ISBN 978-4-339-06673-9/B5 判・フルカラー/208 頁/定価 4,290 円/2025 年 12 月発行 さまざまな時代・種類の地層や岩石が分布する房総半島の野外観察を通して、大地の成り立ちや地球環境史を学べるフィールドガイド。過去 30 年間の地質学・地球科学の進歩を反映し、地質学や地球科学の入門書としても活用できる。	本書を読むにあたって/房総半島の成り立ち/地層と岩石の観察方法/地層と岩石のフィールドワーク/房総半島の資源/身近な自然の猛威

【科学一般】

 	(シリーズ システム・制御のニューフロンティア D-2) 責任ある人工知能ロボット -倫理・法・社会的観点から考える未来- 高橋利枝 (早大教授) 編著 原島大輔 (立教大助教)・河島茂生 (青山学院大教授)・成原 慧 (九大准教授)・板倉陽一郎 (ひかり総合法律事務所)・河井大介 (青山学院大助教) 共著 ISBN 978-4-339-03405-9/A5 判/238 頁/定価 3,630 円/2026 年 6 月発行 AI に対する倫理的・社会的課題への対応が急務となる中、AI 倫理原則と社会実装の間には大きな隔たりがある。本書では人を幸せにする AI 社会を造るため、AI ロボット開発における倫理的・法的・社会的課題についてアプローチ。	人の暮らしとスマートロボット/技術倫理の構築: AI ロボットを中心に/スマートロボットの規制とガバナンス/スマートロボットの法的問題/AI ロボットへの理解とリスク認知: 日英米の比較から/ヒューマン・ファースト・インノベーション: 人を幸せにする AI 社会の創造に向けて
--	---	---

【今後の刊行予定】 ※書名は変更になる場合があります。

- ・ 『情報系のための電気回路』
高橋 浩（上智大教授）著／978-4-339-01508-9／B5 判／2026 年 11 月上旬刊行予定
- ・ 『ベクトル解析』
有馬卓司（東京農工大教授）著／978-4-339-06138-3／A5 判／2026 年 12 月上旬刊行予定
- ・ 『アンテナ工学 -基礎理論から解析・設計・測定・評価まで-』
新井宏之（横浜国大名誉教授）著／978-4-339-01509-6／A5 判／2026 年 12 月中旬刊行予定
- ・ 『エクステンションテキスト 情報基礎』
藤本健司（神戸市立高専教授）著／978-4-339-01461-7／B5 判・2 色刷／2026 年 12 月中旬刊行予定
- ・ 『エクステンションテキスト 工学系のための 文章の読み方・書き方-レポート・論文・発表・ビジネス文書・生成 AI の活用まで-』
館泉雄治（元東京高専教授）・船戸美智子（元東京高専教授）共著／978-4-339-01462-4／B5 判・2 色刷
2026 年 12 月下旬刊行予定

高専・大学・専門学校の教科書をお探しの先生方へ

コロナ社HPにて、教科書としてお薦めの書籍を、一般的な講義名称から検索いただけます。
下記二次元コード、または弊社HP右上の「教科書採用ご検討の方」からご覧ください。
見本本のご請求は、「教科書採用に関するお問合せ」より承ります。



教科書採用
ご検討用ページは
こちら



教科書採用に関する
お問合せは
こちら

コロナ社の書籍を教科書にご採用いただいている先生方へ

弊社刊行書籍を教科書にご採用いただいている先生方に向けて、
次年度のご採用予定をお知らせいただくフォームを作成いたしました。
採用のご予定を事前にお知らせいただくことで、必要部数の確保や重版の準備を行い、
次年度の教科書供給を円滑に行わせていただきます。
また、教科書の変更をご検討の場合は、代替書籍のご提案、見本本のご提供を承ります。
<https://www.coronasha.co.jp/np/form/saiyo-check.html>
または、下記二次元コードよりご回答いただきますようお願い申し上げます。



取扱店

科学技術と共に歩む



株式会社 コロナ社

〒112-0011 東京都文京区千石4-46-10
TEL (03)3941-3131 (代), -3132, -3133 (営業部直通)
<https://www.coronasha.co.jp> FAX (03)3941-3137
E-mail eigyoku@coronasha.co.jp

